

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※4
北海道	はまとなべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	カモ類 5万羽 〈9月中旬～4月下旬〉 ハクチョウ類 5千羽 〈10月中旬～4月下旬〉	カモ類 1,189羽、 オオワシ 4羽	※主に渡去の中継地 湖が80～90%凍結。ハク チョウ・カモ類の渡りはほ ぼ終了。スズガモ・ヒド リガモの姿は見られな くなった。 (11/29現在)	北海道
	ウトナイ湖 とまこまい (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈10月上旬～4月下旬〉 ガン・カモ類 〈9月中旬～4月上旬〉 オオワシ、オゾロシ	ガン・カモ類 577羽、 ワシ・効類 2羽	※主に渡去の中継地 カモ類の飛来数、最大128 羽確認。ハクチョウ、ガ ン・カモの渡り中継地と して日々飛来数に変更。 オオワシ・オゾロシ類 飛来数、最大130羽確 認。 (11/26現在)	
	とうふつこ 濤沸湖 (網走市、小清水町、 白鳥公園付近)	オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオワシ、オゾロシ	ガン・カモ類 500羽	※主に渡去の中継地 濤沸湖の結氷が進んで いる。オオハクチョウ・ カモ類も減少。 (11/3現在)	釧路
	ふうれんこ 風蓮湖 べつかい (根室市、別海町)	オオハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオワシ、オゾロシ	カモ類 数未確認	※主に渡去の中継地 オオハクチョウの飛来 がピーク。 (11/30現在)	
	あつけし べかんべうし 厚岸・別寒辺牛・ 霧多布 きりたつぷ (標茶町、厚岸町、 浜中町)	(厚岸湖側)オオハク チョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオワシ、オゾロシ	オオハクチョウ 5,300羽、 カモ類 数未確認	※主に渡去の中継地 カモ類が淡水系から潜 水系のものに変わって きている。 (11/30現在)	
	(霧多布側)オオハク チョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オオワシ、オゾロシ	カモ類 2,000羽、 オオハクチョウ 750羽、 ワシ類 7羽	※主に渡去の中継地 オオハクチョウは平年 並み。カモ類は前回よ りやや減少。 (11/25現在)		
青森	こみなと 小湊 (東津軽郡)	オオハクチョウ、オオ ガガモ、キンクロハジ ロ、ユリカモ	オオガガモ 1,050羽、 オオハクチョウ 130羽、 キンクロハジロ 60羽	渡りはいよいよ本格化 する模様。例年よりは やや遅め。 (11/29現在)	東北
秋田県	大潟草原 (大潟村、男鹿市)	コガモ、マガモ等カ モ類 コハクチョウ等ハク チョウ類 ヒシクイ、マガン 〈10月下旬～3月 下旬〉	コガモ 100羽、 ヒシクイ 1,100羽、 コハクチョウ 250羽、 マガモ 30羽	9/16よりコガモ、 マガモが飛来。10/16 よりマガン、ヒシクイ が飛来。10/24より ハクチョウ類が飛来。 (11/28現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3万羽 〈9月下旬～3月〉	ガン・カモ・ハク チョウ類 3,500羽	現在越冬中。 (11/28現在)	

山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ 2万羽、 ホシハジロ 2千羽、 キンクロハジロ 2千羽、 オハクチョウ 5千羽、 コハクチョウ 3千羽、 <10月中旬～4月中旬>	オカガモ 20,000羽、 オハクチョウ 5,500羽、 コハクチョウ 3,500羽、 カモ類 4,000羽	9/23よりオハクチョウ数羽が 飛来。10/11よりハクチョウ個 体群が飛来。飛来するハ クチョウとのふれあいの 場、スワンパークが開設。 (11/27現在)	
千葉県	谷津 (習志野市)	カモ類 4千羽 <10月中旬～4月下旬> シギ・チドリ類 2千羽 <8月上旬～5月中旬>	ガン・カモ類 1,021羽、 シギ・チドリ類 1,157羽、 カモ類 11羽	シギ類の渡りはほぼ終了 (ハマシギを除く)。カモ類 は今後、やや増加すると 思われる。(11/25現在)	関東
新潟県	さかた 佐潟 (新潟市)	マガモ、コガモ等カモ類 5千羽 <10月上旬～3月下旬> コハクチョウ、オハクチョウ等 3千羽 <11月上旬～2月下旬>	ハクチョウ類 3,385羽、 マガモ 2,721羽、 コガモ 974羽、 その他カモ類 300羽	ハクチョウ類の飛来数は減少。 カモ類も減少。全体的に減 少傾向。(11/28現在)	
石川県	かたの かもいけ 片野鴨池 (加賀市)	ガン・カモ類 3千羽 <9月上旬～4月中旬> コハクチョウ 4百羽 <10月中旬～3月下旬>	カモ類 1,500羽、 マガン 2,000羽、 コハクチョウ 500羽、 ヒシカイ 74羽	9月中旬より飛来開始。 暖かいためか、オカガモの 数が多い。(11/24現在)	中部
愛知県	ふじまえひがた 藤前干潟 (名古屋市)	カモ類 3千羽 <9月下旬～5月初旬> シギ・チドリ類 <8月初旬～5月中旬>	スズガモ 13,000羽、 ハマシギ 650羽、 キンクロハジロ 600羽、 タレシ 84羽	11月25日以降、スズガモの 飛来数は減少傾向。ハマシギ の飛来はここ数年で最 少。(11/25現在)	
鳥取県 ・ 島根県	なかうみ 中海 (米子市、境港 市、安来市、 松江市)	カモ類 5万羽 <10月上旬～4月末>	ガン・カモ類 12,883羽、	毎回カモ類が確認できる地 点および周辺にもあまり 飛来が見られない。 (11/28現在)	中国 ・ 四国
島根県	しんじこ 宍道湖 (松江市、斐川町)	コハクチョウ 9百羽 マガン 3千羽 カモ類 5万羽 <10月～5月>	カモ類 17,000羽、 マガン 950羽、 コハクチョウ 590羽	カモ類は前回調査よりも減 少。マガンの群にナベヅルが 混じっている。コハクチョウは 潟内池に多数飛来。 (11/27現在)	
福岡県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等カモ類、 ハマシギ等シギ類 1,000～ 1,500羽<10月下旬～3 月下旬>	ヒドリガモ 300羽、 マガモ 200羽、 コガモ 100羽	異常なし。(11/30現在)	九州
鹿児島県	いづみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マヅル等ツル類 <10月～3月> ヒドリガモ、マガモ等カモ類 <10月～3月>	ツル類 12,040羽、 カモ類 10,000羽	異常なし。(11/30現在)	

宮崎県	<small>きりしま</small> 霧島 <small>みやこのじょう</small> <small>みいけ</small> <御池> <small>たかはる</small> <small>みやこのじょう</small> 城市、高原 (都 町)	マカモ等カモ類 <10月～4月>	マカモ 620羽、 ヒトリカモ 50羽、 カルカモ 50羽	異常なし。(11/30現在)	
沖縄県	<small>まんこ</small> 漫湖 (那覇市、豊見城市)	ムカゴロ、アカアシギ等のシギ ・チドリ類、カモ類 <冬期間>	シギ類 42羽、 サギ類 17羽、 チドリ類 77羽	渡来中。(11/23現在)	那覇

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況をとりとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。